Ver.4.0　　令和7年4月4日

普通科　総合探究　3年間の指導計画（令和７年度）

１年次

令和	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実施時数	1 2 3	4 5 6 7	8 9 10	11 12 6H	14 15 16	17 18 19 20	21 22 23	24 25 26 6H	29 30	31 32 33	34 35
28展開	教科担任４名（TTにより、各クラスを４名で担当する					教科担任４名（TTにより、各クラスを４名で担当する					
個人orグループ	全体	グループ	個人	個人	グループ			グループ			
実施内容	植松電機ロケット実習	自分史・他己紹介スピーチ	ENAGEED Vol.1	身近な地域の魅力課題再発見	地域創生プランの立案		地域創生プランの立案			SDGｓ学習	
活動内容詳細	・植松電機を訪問してのモデルロケット実習	・行動や努力が実を結んだ出来事やそのときの感情をまとめ、自己分析を行う。 ・作成した「自分史」を交換し合い、受け取った相手の長所を読み取り、他の生徒に紹介する。	・小さな疑問やアイディアが文明を作ってきたことを踏まえ、地域の課題をみつけ、理想状態に近づけるために必要な事柄を考える	・課題の原因分析する。 ・ブレスト ・マンダラート ・ボックスアロー	・住み慣れた地域の課題や魅力を見つめ直し、魅力を課題解決につなげる方法を考える ・自治体の発表する統計データなどを分析し、地域の課題を「客観的な数値」に基づいて捉える		・取り組む自治体ごとに班を編制し、地域創生プランを立案する。 ・個人の調査で得た知識を共有し、さらに必要な情報を特定して追加調査を実施する。 ・高校生らしい独創性な案でありながら、数値的な分析に基づくプランを期待する。	・発表準備 ・スライド作成		・SDGｓ１６９のターゲットから１つを選び、文献やインターネットによる調査活動を実施 ・ポスターを作製する。２年７月の課題研究発表会で展示する。	
伸ばしたい具体的な力	・科学や社会に対する興味	・自己分析力 ・自分の考えを文章で伝える力 ・自分の考えを話すことで伝える力	・課題を見つける力 ・具体的な理想を描くカ ・理想を実現する方法を見つける発想力	・因果関係を見つける思考力	・住み慣れた地域の課題や魅力を客観的に捉える力 ・現状を把握するために必要な情報を集める力 ・地域の抱える問題の構造を分析する力		・課題の解決につながる事柄を見つけ出す力 ・アイディアを実現しようとしたときに起こる問題を予想する力	・情報を見やすく整理する力 ・意図を正確に伝える力	・話で人を引き付ける力	・SDGｓについての正しい知識 ・信頼のおける情報を選び出すカ ・集めた情報を人に見せることを意識して整理するカ ・情報を引用する際の正しい知識	
言語を活用する力											
知識、情報を活用する力											
課題を見出す力											
議論する力											
他者と協働する力											
自らを振り返り変容させる力											
挑戦する力											

課題研究発表会　見学　課題研究発表会

２年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実施時数	1 2	3 4 5 6 7	8 9	10 11 12 6H	14	15 16 17	18 19 20	21 22 23	24 25 26 6H	31 32	33 34	35
28展開	→						→					
個人orグループ	グループ						グループ					
実施内容	グループごとのテーマ設定による課題研究				グループごとのテーマ設定による課題研究					個人課題研究・卒業研究		
活動内容詳細	・研究の題材として６から８ほどの「カテゴリ」を設定する。 ・生徒は希望のカテゴリの中でグループを編成し、自由な視点から、問題解決や地域の発展を目指す実効性のある提案を目標とした研究を行う。自然科学の場合は、研究を行う。 ・研究活動では、「社会の中で学ぶ」「学校で得た知識を、社会の中で生かす」ことを重視する。				・夏期休業中に滝川市役所や企業を訪問するなどして、課題の詳細を把握する。 ・他の自治体の先行研究を調査し、滝川で期待される効果について分析する。 ・校外での実施調査を行う。	中間発表	・追加研究 ・スライド作製 ※　中間発表以降の学校外での発表を奨励する。学校外での発表の実績は成績に反映させる。			・総合探究Ⅲのテーマを決定する。 ・個人研究の仮説を設定し、研究計画を完成させる。 ・春休みには、取材活動を実施する。		
伸ばしたい具体的な力	・地域の課題を様々な視点から分析する力 ・アイディアと課題解決を結び付ける力 ・地域にある研究資源を見つけ出す力 ・計画の根拠を明確にする力 ・グループでの議論を深める力 ・他人の発言の趣旨を捉え、疑問を持つカ ・他の自治体の成功例など、多様な情報を参考に立案する力				・研究の過程で生じた疑問を解消するために必要な情報を集める力 ・必要な情報を得るために、学校外の期間に取材するために求められる基本的礼儀や、質問を正しく伝える会話力 ・得られた情報を分析する力 ・自らの提案を検証する方法を見つけ出す力		・研究内容を深めるために必要な事柄を見極める力 ・研究を興味深いものにするための取材等を行う行動力 ・研究の要旨を整理し、スライドにまとめる力 ・見る人の興味を引くプレゼンテーションを作る力			・授業で学んだ知識・技能や思考力判断力などを探究活動に生かすカ ・地域や社会の課題を見つめる、自分独自の視点 ・総合探究Ⅰ・Ⅱで経験した探究の過程を、自身の力で実行する		
言語を活用する力											
知識、情報を活用する力											
課題を見出す力											
議論する力											
他者と協働する力											
自らを振り返り変容させる力											
挑戦する力											

来校者案内　見学

３年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実施時数	1 3 5 2 4	6 8 10 12 7 9 11 13	14 16 18 15 17 19	20 22 24 6H 21 23 25	31	32 33 34 35
28展開	→					
個人orグループ	週1時間は担任・副担任					
個人						
実施内容	個人課題研究・卒業研究					
活動内容詳細	・2年次での課題研究の成果と経験を踏まえ、各自の進路希望に沿った視点を加え課題解決を目指す課題研究 ・各自の必要に応じて、取材やアンケート調査などを実施し、成果をポスターにまとめる。					
伸ばしたい具体的な力	・研究を進めるうえで生じた疑問に対する、多様な視点からの意見を求め、研究を方向修正しながら進める力 ・探究活動の価値を決定づける「何をやったか」「何がわかったか」「何が言るか」を自らの文章と言葉で表現し、ポスターを見た人、発表を聞いた人に研究の用紙を的確に伝える力					
言語を活用する力						
知識、情報を活用する力						
課題を見出す力						
議論する力						
他者と協働する力						
自らを振り返り変容させる力						
挑戦する力						

ポスター発表　まとめ

<<<注意事項>>>

【総合探究Ⅰ】　後期の28展開は実施せず、通年で４名の教科担任制で実施する。
（持ち時間は、前期担任４展開×半年＝２時間＆後期２８展開×半年＝１４時間の合計１６時間と、４名×通年４クラス＝１６時間が等しくなる）

【総合探究Ⅱ】　通年で２８展開を実施する。

【総合探究Ⅲ】　前期集中で実施。毎週１会は２８展開で実施、もう１回は生徒の活動時間として、各クラスに監督と配置する。監督は総合探究Ⅲ担当者の誰かにお願いする（担任とは限らない）

<<<昨年度からの変更点>>>

【総合探究Ⅱ】
　１．テーマを、指定したカテゴリの中（昨年度は、「滝川の暮らし」「滝川の観光」「国際化」「企業課題解決」「医療」「自然科学」の６つ）で決定する方法は変更しないが、カテゴリを、より生徒の興味に応じたテーマ設定ができるように変更する。